

平成24年度 2000人市民委員会全体研修会アンケート

熊本市自治基本条例の見直しに係る市民参画のひとつとして、平成24年度2000人市民委員会の全体研修会において実施しているアンケートです。

配布日 平成24年10月16日(くまもと森都心プラザ)
平成24年10月24日(市民会館崇城大学ホール)

配布部数 約2,000部

集計結果については、第5回自治推進委員会で報告する予定です。
議事の参考資料としてもご覧ください。

自治基本条例に基づく市民参画・協働について

【市民協働課】

1 まちづくりへの取り組みについて

まちづくりとは、生活又は活動している地域をはじめとして、熊本市を魅力的でより快適にしていく活動をいいます。

問1 - 1 これまで、どんな役割でまちづくりに携わった経験がありますか。
下記の事例の中から活動内容に近いものを選んでください。
(いくつでも)

- A 地域団体が行う清掃や防犯等の活動に参加した
- B 地域団体が主催する体育祭や夏祭りなどの企画運営に取り組んだ
- C 地域団体の役員を経験した
- D 地域団体の活動以外のボランティア活動を行った
- E NPO法人等に参加し、まちづくりに関する活動を行った
- F 経験したことがない

地域団体には、町内自治会、PTA、子ども会、老人クラブ、地域婦人会、体育協会、防犯協会、交通安全協会、民生児童委員協議会、社会福祉協議会などが該当します。

NPO法人等とは、特定非営利活動促進法に基づき、法人格を取得し活動する組織など、公共の利益や社会貢献を目的として自主的に活動する団体をいいます。

問1 - 2 問1 - 1でAからEと回答した方にお尋ねします。
まちづくりに携わることになったきっかけは何でしたか。
(いくつでも)

- A 地域団体の活動に興味・関心があった
- B ボランティア活動に興味・関心があった
- C 募集があったので参加した
- D 団体等の役員をしている知人に誘われた
- E 義務感のもとに参加した
- F いろいろな条件が重なり仕方なく引き受けた

問2 まちづくりにもっと参加したくなるためには何が必要ですか。

(1つだけ)

- A 相談対応の充実
- B 情報提供の充実
- C 表彰や公共施設料金割引などの特典の充実
- D その他()
- E 特に必要なし

問3 今後、どんな役割でまちづくりに携わりたいですか。下記の事例の中から活動内容に近いものを選んでください。(いくつでも)

- A 地域団体が行う清掃や防犯等の活動へ参加したい
- B 地域団体が主催する体育祭や夏祭りなどの企画運営に取り組みたい
- C 地域団体の役員を経験したい
- D 地域団体の活動以外のボランティア活動を行いたい
- E NPO法人等に参加し、まちづくりに関する活動を行いたい
- F 活動したくない

問4 これからの、まちづくりの姿はどうあるべきだと思いますか。(1つだけ)

- A 市民や地域でできることはまず市民が行い、できないことを行政が担うべき
- B 地域でできること、行政がやるべきことを互いに役割分担して行うべき
- C 公共サービスは行政が行うべきだが、民間の活力ももっと活用すべき
- D すべての公共サービスは行政が行うべき
- E 分からない

2 市の施策における市民参画・協働の機会について

このアンケートにおいて市の施策とは、各種計画の策定や条例の制定、それに基づき行われる事業等をいいます。

参画とは、施策の立案から実施及び評価までの過程に主体的に参加することをいいます。

協働とは、同じ目的のために、それぞれが対等な立場に立ち、役割と責任を担い、協力することをいいます。

問5 市の施策について、次のような機会において参画した経験がありますか。
(いくつでも)

- A 地域説明会等(現地見学会、出前講座等を含む)
- B シンポジウム
- C 検討委員会等の委員として
- D 意見交換会等(ワークショップ等)
- E パブリックコメント
- F アンケート調査
- G その他()
- H 経験したことがない

シンポジウムとは、著名人、学識者経験者による基調講演やパネルディスカッション等を行い、事業の目的などに対し理解を深める催しをいいます。

ワークショップとは、特定のテーマや課題に対応するため、具体的課題の抽出や解決策等について、集団による共同作業や話し合いを通じて意見等の集約を行う手法をいいます。

パブリックコメントとは、市の計画、条例、規則、制度等の素案、選択肢、論点等を施策の立案過程において広く公表し、市民が多様な意見、情報、専門知識等を提案し、又は提供する機会を設け、市民から提出された意見等を考慮して計画等の検討を行うとともに、検討結果についても広く公表する一連の手続きをいいます。

問6 次のどの段階で市の施策に参画・協働したいと思いますか。(いくつでも)

- A 実施するか、しないかも含めて事業を検討する段階(構想段階)
- B 実施することを前提に、予算措置など事業の計画を策定する段階(計画段階)
- C 計画の実現化に向けて、具体的に取り組む段階(実施・運用段階)
- D 事業効果の評価や改善点の検証を行う段階(評価・検証段階)
- E 情報を提供されるだけでよい
- F 特に参画・協働したいとは思わない

問7 市の施策に関する情報について、どのような方法で情報を得ることが多いですか。(2つまで)

- A ホームページ
- B 新聞
- C 「市政だより」などの広報紙
- D 広報番組(ラジオ、テレビ)
- E 市の情報提供窓口
- F 町内の回覧板や掲示板
- G フェイスブック「わくわく都市くまもと」
- H その他()

問8 市の施策に関して、必要な情報を得ることができていますか。(1つだけ)

- A 得ることができている
- B 概ね得ることができている
- C 不足している

3 区を単位とした住民自治の充実について

問 9 本年4月から5つの行政区を設置し区ごとの特色を活かしたまちづくりを進めてまいりますが、そのためには特に何が必要ですか。(1つだけ)

- A 区の職員と地域とのつながりの強化
- B コミュニティ活動の活発化に向けた助成の強化
- C 地域の声を反映させる仕組みの強化
- D 特にない

コミュニティ活動とは、地域又は共通の関心によってつながった多様な組織や集団が、身近な地域の課題を解決するために行う活動をいいます。

問 10 区民の声を区のまちづくりへ反映させるためには、どのような方法が有効と考えますか。(いくつでも)

- A 地域での説明会等を充実する(現地見学会、出前講座等を含む)
- B 講演会やパネルディスカッションなどの催し物を増やす
- C 区民の代表が集い話し合う場を設ける
- D ワークショップなど区民の意見を交換できる機会を増やす
- E パブリックコメントを充実する
- F アンケート調査を充実する
- G その他()

問 11 区のまちづくりを進めるにあたり、どのような分野において話し合う必要があると思いますか。(2つまで)

- A 安全・安心(防犯、防災、交通安全等)
- B 福祉・健康(介護、障害福祉、健康づくり、高齢者の見守り等)
- C 子育て・共生社会
(子育て支援、スポーツ振興、シニア世代活用、人権共生、男女共同参画等)
- D 環境・自然(地球温暖化、ごみ、不法投棄、緑の保全、河川環境等)
- E 伝統・文化(地域資源、イメージ向上、文化芸術等)
- F 市民自治(市民参画と協働、市民活動支援等)
- G その他()

4 住民自治の浸透について

問 1 2 コミュニティ活動を行うのに、活動しやすい単位はどれだと思えますか。(1つだけ)

- A 町内(会)
- B 小学校区
- C 中学校区
- D 区
- E 市
- F その他()

問 1 3 お住まいの地域のコミュニティの現状について、どのように思えますか。(1つだけ)

- A 満足できる状態にある
- B 概ね満足できる状態にある
- C あまり満足できる状態にない
- D 満足できない
- E 関心を持ったことがない

問 1 4 熊本市自治基本条例について、これまで(研修会以前)に知っていましたか。(1つだけ)

- A 条例の内容も含めて知っていた
- B 条例の名称は聞いた事があった
- C 知らなかった

問15 - 1 「自分たちのまち自分たちで創る」というまちづくりの考え方に共感することができますか。(1つだけ)

- A 共感できる
- B 共感できない
- C 分からない

問15 - 2 「自分たちのまち自分たちで創る」というまちづくりの考え方は浸透していると思いますか。(1つだけ)

- A 浸透している
- B ある程度浸透している
- C 浸透していない

問15 - 3 問15 - 2でそのように答えた理由を教えてください。